

ワークショップ 18

「慢性便秘診療の新展開」

司会 永原 章仁（順天堂大学医学部消化器内科）

中島 淳（公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科
肝胆膵消化器病学教室）

本郷 仁志（藤田胃腸科病院）

近年、慢性便秘に対する様々な新規機序薬が上梓され、治療選択肢は一気に拡大した。しかし実地臨床では病態診断が困難なことから、手探りで診療しているのが現状である。腸内細菌、炎症、消化管運動、脳腸相関などの病態研究や、新たな診断法、非薬物療法を含めた新たな治療戦略、疫学や医療経済など多方面からのエビデンスが求められている。本ワークショップでは、便秘診療に関わる最新のエビデンスを広く募集する。